

KENWOOD

カスタムフィットスピーカー KFC-RS173 取付説明書

株式会社 JVCケンウッド
© 2015 JVC KENWOOD Corporation BSE-0075-00/02

はじめに

- お買い上げいただきありがとうございます。
取付けにあたっては、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取付けを行なってください。
- この説明書に従って作業を進めてください。お読みになった後も大切に保管してください。お車の取扱説明書と一緒にしておかれるようお願いいたします。
 - 適合車種は、化粧箱の底面を参照してください。
 - 取付け作業の説明でわかりにくいやところがありましたら、購入店または当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
 - 当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせ先は、この説明書の「保証とアフターサービス」の下部に記載してありますので参照ください。

- ご注意
- 一部車種によってはシートベルトの取り外し、取付けがあります。取付けの際は車両側の規定トルクで締め付けてください。詳しくは販売店または自動車ディーラーにご相談ください。
 - 車種グレードによって純正取付キットが必要となります。詳しくは販売店にご相談ください。
 - 取付け作業の際にスピーカーを裏向きに伏せて置くこととスピーカーが濡れる恐れがあります。ご注意ください。
 - 車種グレード・年式によっては車両の一部に変更がある場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

必要工具

⊕ドライバー、⊖ドライバー、クリップリムーバー、プライヤー、ニッパー、ビニールテープ、レンチ(TONE社 MODEL 800Mなど)、カッターナイフ、電動ドリル、ヤスリ

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証	修理を依頼される時は (持込修理)
この製品には、保証書を添付していません。保証書、お買い上げ日を証明できるものの提示が必要です。保証書がない場合は保証対象外となります。	真機のあるときにご使用中し、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。 保証期間内でも「安全上のご注意」を守らない使用で故障および破損の場合は、原則として有料とさせていただきます。
保証期間 お買い上げ日より1年間です。 一部の消耗品は、なすに落下、水など、不適切な使用による故障の場合は、保証期間内でも有りと見なされます。	保証期間内は 当社の保証期間内は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターに連絡ください。修理期間内は、お買い上げの日を証明していただきます。修理期間内には、修理費をお支払いいただく必要はありません。
補修性能部品品の有無期限 本製品の補修性能部品は、製造打ち切り後8年保有しています。 補修性能部品は、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)
修理に関するご相談は 修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。	お買い上げ店名 修理に使用した部品は、その他修理に付する部材を交換する場合もあります。

株式会社 JVCケンウッド

- T221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
● 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87(固定電話からはフリーダイヤル) / 0570-010-114(携帯番号、PHSからはナビダイヤル) / 045-450-8950(一部IP電話など)
FAX 045-450-9309
住所 T221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:30(日曜、祝日および当社休日休みさせていただきます)
● 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ(http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html)またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内
お買い上げいただきました製品を「登録」していただくこと、ご利用いただいている製品のサポート情報のほか、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。下記ウェブサイトで会員登録をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。 https://jp.my-kenwood.com

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について	絵表示の例
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。	記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。	

警告：取り付け・接続作業上の注意

取り付け、接続作業は販売店または専門の業者に依頼する
取り付け、接続作業はこの「安全上のご注意」に従って行う

- 取り付け、接続作業には、専門技術と経験が必要です。
- 取り付け、接続作業は、安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。
- 取り付け、接続作業は、この「安全上のご注意」の指定に従ってください。
- 誤った取り付けを行うと、急ブレーキをかけたときに製品が外れて人がぶつかると、重大な事故が発生する危険性があります。誤った接続を行うと、感電、火災の原因となります。
- この「安全上のご注意」に従わない取り付け、取り付け不備を含め、それらによって発生した事故に対しては、当社が一切責任を負うことができませんのでご注意ください。

包装用ビニール袋はかたづける

- 製品の包装に使われているビニール袋は、子どもががけて遊んだりしないよう、手の届かない所に片づけてください。

作業時は、車両バッテリーの接続を外す

- 取り付け、接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。
- バッテリーに接続したまま接続作業を行うと、ショート*が起り、火災の原因となります。

安全な場所に設置する

- 製品の取り付けは、ドライバーの視界を妨げない場所や、車の運転の邪魔にならない場所、急停車等の場合と同乗者に危険を与えない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。
- 安全な場所に取り付けられない場合、けが、事故の原因となります。

工具は寸法が合ったものを使用する

- ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用してください。
- ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用してください。

取り付けには専用の付属品を使用する

- 製品の取り付けには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。

取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかると、けがの原因となります。

タンクや電気配線を傷つけない

- 車両の穴を開けて製品を取り付ける場合、ガソリンタンク、パイプ類、他の電気配線などの位置を確認の上、これらを絶対に傷つけないようにしてください。
- これらのものが傷つくと、火災の原因となります。

コードは正しく接続する

- スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。
- 車体に直接接続しないでください。
- 車体と直接接続すると、感電、火災の原因となります。

指定以外のコードは使わない

- 指定されたもの以外のコードは使用しないでください。
- 発熱し、火災の原因となることがあります。
- 指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

配線コードはテープを巻いて保護する

- 車両の金属部近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
- 金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。コードが傷つくと、感電やショート*による火災の原因となります。

電源コードの被覆を切った配線はしない

- 電源コードの被覆を途中で切ると、他の機器の電源を落とす原因となります。絶対にやめてください。
- ショート*が起り、火災の原因となります。

重要保安部品には接続しない

- アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けて、アースをとらないでください。
- 重要保安部品のボルトやナットにアースコードを取り付けてアースをとると、車両の機能が損なわれる原因となります。

取り付け、接続後車両の点検を行う

- 製品の取り付け、接続が終了したら、車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。
- 誤った接続などで車両の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります。

カスタムフィットスピーカー KFC-RS173 取付説明書

■ 付属品 ● 本機には下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

①	タッピングねじ (M6×20mm).....6	⑥	スプリングワッシャー...8 (φ5)	⑪	バックキ(1ペア分).....1 (断面:幅12mm,厚み3mm)
②	タッピングねじ (φ5×18mm).....8	⑦	ワッシャー.....6 (φ5)	⑫	交換コード (ホンダ専用).....2
③	タッピングねじ (φ4×12mm).....12	⑧	ブラケット.....2	⑬	交換コード (トヨタ、三菱専用).....2
④	小ねじ (M5×12mm).....8	⑨	バックキ(1ペア分).....1 (断面:幅5mm,厚み3mm)	⑭	交換コード (汎用).....2
⑤	ナット (M5).....8	⑩	バックキ(1ペア分).....1 (断面:幅5mm,厚み5mm)	⑮	接続キャップ.....4

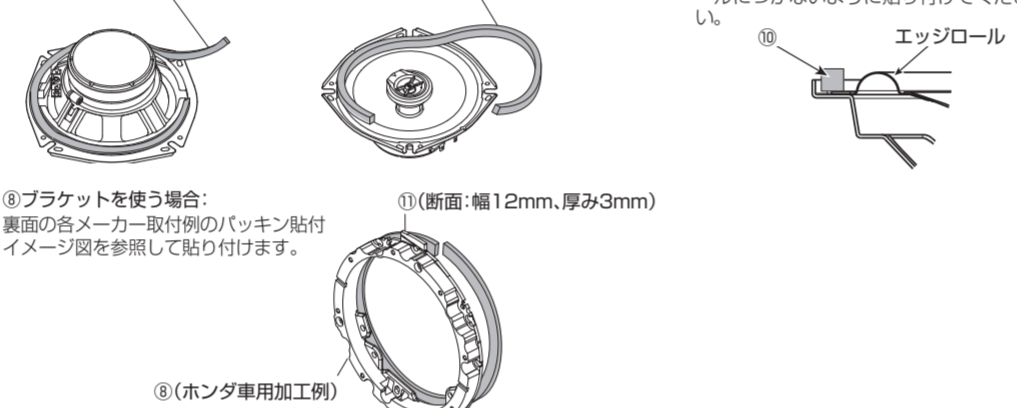
■ 取付例

裏面の車種別取付例も参照してください。

取付例 A 車両側ブラケットを使用する場合	取付例 B 別売取付キットを使用する場合 図は三菱車の例で、別売スピーカー取付キットSKM-301Sを使用する場合となります。	取付例 C 付属ブラケットを使用する場合 図はホンダ車の例となります。 図はワッシャー・⑧ブラケットを使用し、純正スピーカーの固定にねじを使用しているホンダ車の場合に使用しません。
車両側スピーカーブラケット 純正ねじまたは付属ねじ 付属交換コード	別売SKM-301S付属スピーカーマウント 車両側配線コード *スピーカー本体とスピーカーマウントは、取付キットに付属の取付説明書に従って取り付けてください。	⑧(ホンダ車用加工例)は除きます。 車両側コネクター

■ 取付準備

- ⑨⑩⑪バックキの貼り付け
防振・防滴のために⑨⑩⑪バックキを貼り付けます。
- ⑨(断面:幅5mm,厚み3mm)
- ⑩(断面:幅5mm,厚み5mm)



⑨(ホンダ車用加工例)は除きます。裏面の各メーカー取付例のバックキ貼付イメージ図を参照して貼り付けます。

ご注意

- 必ず付属のバックキをご使用ください。バックキを使用せずに取り付けた場合、車室内に水が漏れる場合があります。
- 付属のバックキは、ウーファーのエッジロールにつかないように貼り付けてください。

■ 付属 ⑧ブラケットの切り取り

車種により⑧ブラケットを切り取って使用します。図の黒い番号順に切り取ってください。切り取る部分、取付穴位置については、下図および車種別取付例を参照してください。

- * [A]等のアルファベットは、⑧ブラケットの刻印です。
- * 切り取った 部分には使用しません。
- * 車種によっては切り取る部分異なる場合があります。
- * 車種によっては穴開け加工が必要です。

トヨタ/日産(1)
スズキ(1)*

スズキ(2)
取付穴位置
●:パターン1
▲:パターン2

三菱(1)

三菱(2)
日産(2)
取付穴位置●

マツダ(1)
デミオ(H19/7~H26/9)のみ
取付穴位置●

マツダ(2)

マツダ(3)
取付穴位置●
▲:パターン2

スバル
取付穴位置●

ホンダ(1)
取付穴位置●

ホンダ(2)
フォルクスワーゲン
取付穴位置●

ホンダ(3)
取付穴位置●
*穴開け加工が必要です。

ホンダ(4)
取付穴位置●

取付穴を開ける

取付穴を開ける

※車種と干渉する場合は[Y][Z]も切り取ってください。

※以下のスズキ車が該当します。
MRワゴン H13/12～H18/1
エリオ H13/11～H15/11
ラバン H14/1～H20/11
ランディ H22/12～現在

※リアドアは切り取り部分が追加となります。

※車種と干渉する場合はH[I][Q]Yも切り取ってください。

※車種と干渉する場合は●取付穴位置●:パターン1 ▲:パターン2 ★:パターン3

上側の穴に固定する例

①②の縦・横方向のガイドリブを、ブラケット裏面の上部の凹み部分に合わせるようにして固定します。

①②が変形し取り付けにくくなりますのでご注意ください。

※ねじを締めると①②が変形し取り付けにくくなりますのでご注意ください。

■ 接続方法

【交換コードを使用する場合】

⑭交換コード(汎用)の接続については⑭交換コード(汎用)の使いかたを参照してください。

付属交換コード⑭、⑬のうち適合するもの

車両側配線コード

※車種により、極性が異なります。誤った極性で接続しますと、正しい音が再生されなくなりますのでご注意ください。

⑭交換コード(汎用)を接続します。

【三菱車の場合】

【三菱車以外の場合】

白ライン入り

- ⑭交換コード(汎用)の使いかた
車両側コネクターが、右図のような「T型タイプ」の場合に使用します。
- 「T型タイプ」のコネクター

※車種により、極性が異なります。誤った極性で接続しますと、正しい音が再生されなくなりますのでご注意ください。

車両側コネクター

車両側コネクター

白ライン入り

⑮接続キャップの使いかた
⑮交換コードの平板端子側を切断します。車両側のコードも同様に切断してください。

切断した車両側コネクターの極性を確かめください。(車両によってはコネクターに極性表示があります。)

⑮交換コードの平板端子側を切断します。車両側のコードも同様に切断してください。

接続キャップを図の方向にねじります。

⑮交換コードのコードも同様に巻いてください。

⑮接続キャップを巻きます。

※ショート
電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード(電気配線)が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

カスタムフィットスピーカー KFC-RS173 取付説明書

△ ブラケットを切り取る際は、切断面だけをしらないようご注意ください。また、ニッパーの取り扱いに十分ご注意ください。

トヨタ/日産(1)
スズキ(1)*

スズキ(2)
取付穴位置
●:パターン1
▲:パターン2

三菱(1)

三菱(2)
日産(2)
取付穴位置●

マツダ(1)
デミオ(H19/7~H26/9)のみ
取付穴位置●

マツダ(2)

マツダ(3)
取付穴位置●
▲:パターン2

スバル
取付穴位置●

ホンダ(1)
取付穴位置●

ホンダ(2)
フォルクスワーゲン
取付穴位置●

ホンダ(3)
取付穴位置●
*穴開け加工が必要です。

ホンダ(4)
取付穴位置●

取付穴を開ける

取付穴を開ける

※車種と干渉する場合は[Y][Z]も切り取ってください。

※以下のスズキ車が該当します。
MRワゴン H13/12～H18/1
エリオ H13/11～H15/11
ラバン H14/1～H20/11
ランディ H22/12～現在

※リアドアは切り取り部分が追加となります。

※車種と干渉する場合はH[I][Q]Yも切り取ってください。

※車種と干渉する場合は●取付穴位置●:パターン1 ▲:パターン2 ★:パターン3

上側の穴に固定する例

①②の縦・横方向のガイドリブを、ブラケット裏面の上部の凹み部分に合わせるようにして固定します。

①②が変形し取り付けにくくなりますのでご注意ください。

※ねじを締めると①②が変形し取り付けにくくなりますのでご注意ください。

△ 本体裏面は温度が高くなりますのでご注意ください。

【コネクターが合わない場合】

⑮接続キャップを使った接続については⑮接続キャップの使いかたを参照してください。

切断した車両側配線コード

⑮接続キャップ

⑮交換コードの平板端子側を切断します。車両側のコードも同様に切断してください。

極性を合わせ、コード2本を図のようによじり、接続キャップをかぶせます。

切断した車両側コード

白ライン入り

※切断前車両側コネクターの極性を確かめください。(車両によってはコネクターに極性表示があります。)

※誤った極性で接続しますと、正しい音が再生されなくなりますのでご注意ください。

- ⑮接続キャップの使いかた
⑮交換コードの平板端子側を切断します。車両側のコードも同様に切断してください。
- 極性を合わせ、コード2本を図のようによじり、接続キャップをかぶせます。

切断した車両側コード

白ライン入り

※切断前車両側コネクターの極性を確かめください。(車両によってはコネクターに極性表示があります。)

⑮交換コードのコードも同様に巻いてください。

⑮接続キャップを巻きます。

⑮交換コードのコードも同様に巻いてください。

⑮接続キャップを巻きます。

※ここにある取付例は、基本的に運転席側を表しています。

ヴォクシー／ノア(H26/1～現在)／エスクァイア(H26/10～現在)取付例 ... プラケット切り取り【トヨタ】

トヨタ取付例: フロントドアとリアドアの取付手順。フロントドアには交換コード、タッピングねじ、ブラケット、ドアトリム、クリップ(9個)を使用。リアドアにはドアサッシエンドパネル、インサイドハンドルカバー、ドアトリム、クリップ(10個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

セレナ(H22/11～現在)取付例 ... プラケット切り取り【日産】

日産取付例: フロントドアの取付手順。フロントドアには交換コード、タッピングねじ、ブラケット、ドアトリム、クリップ(12個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

アクア(H23/12～現在)取付例 ... プラケット切り取り【トヨタ】

トヨタ取付例: フロントドアの取付手順。フロントドアには交換コード、タッピングねじ、ブラケット、ドアトリム、クリップ(8個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

ステップワゴン(H27/4～現在)取付例 ... プラケット切り取り【ホンダ(4)】

ホンダ取付例: フロントドアとリアドアの取付手順。フロントドアにはアームレストポケット、キャップを脱着、インサイドハンドルカバー、ドアトリム、クリップ(13個)を使用。リアドアにはスナッピングリング、インサイドハンドル、スナッピングリング、ドアトリム、クリップ(11個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

N BOX(H23/12～現在)取付例 ... プラケット切り取り【ホンダ(1)】／【ホンダ(4)】

ホンダ取付例: フロントドアとリアサイドの取付手順。フロントドアにはドアミラー、インサイドハンドルカバー、ドアトリム、クリップ(8個)を使用。リアサイドにはリアサイドトリム、クリップ(7個)、クリップ(3個)、クリップ(4個)、バックドアスカッフプレート、ウェザーストリップモールを使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

WRX S4 / WRX ST1(H26/8～現在) / XV(H24/10～現在) / インプレッサ G4 / インプレッサ スポーツ(H23/12～現在) / レヴォーグ(H26/6～現在)取付例 ... プラケット切り取り【スバル】

スバル取付例: フロントドアの取付手順。フロントドアにはアームレストポケット、キャップを脱着、交換コード、タッピングねじ、ブラケット、ドアトリム、クリップ(8個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

デイズ / eKワゴン(H25/6～現在) / デイズルークス / eKスペース(H26/2～現在)取付例 ... プラケット切り取り【三菱(2)】 / 【日産(2)】

三菱/日産取付例: フロントドアの取付手順。フロントドアには交換コード、タッピングねじ、ブラケット、ドアトリム、クリップ(7個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

ハスラー(H26/1～現在)取付例

スズキ取付例: フロントドアとリアドアの取付手順。フロントドアにはドアトリム、クリップ(9個)を使用。リアドアにはドアトリム、クリップ(7個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

ゴルフ(H21/4～H25/6)取付例 ... プラケット切り取り【フォルクスワーゲン】

フォルクスワーゲン取付例: フロントドアの取付手順。フロントドアにはアームレストグリップカバー、交換コード、タッピングねじ、ブラケット、ドアトリム、クリップ(6個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

ワゴンR(H24/9～現在)取付例 ... プラケット切り取り【スズキ(2)】

スズキ取付例: フロントドアとリアドアの取付手順。フロントドアにはフッシュオンクリップ、ドアトリム、クリップ(9個)を使用。リアドアにはドアトリム、クリップ(7個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

デミオ(H26/9～現在)取付例 ... プラケット切り取り【マツダ(3)】

マツダ取付例: フロントドアとリアドアの取付手順。フロントドアにはインサイドハンドルカバー、パワーウィンドウスイッチパネル、ドアトリム、クリップ(9個)を使用。リアドアにはインサイドハンドルカバー、パワーウィンドウスイッチパネル、ドアトリム、クリップ(9個)を使用。純正スピーカーはリベットで固定されているため、リベットの除去方法を参照してください。

締め付けトルクについて

締め付けトルクについて: リベットの除去方法と締め付けトルクの目安。リベットの除去にはドリルで穴をあける必要があり、リベット本体も取り除きます。締め付けトルクは、大人が通常のドライバーを使って普通力でねじを締める場合、約9.8 N・m(1kgf・m)です。